



< 10月号 >

# 朝三中だより

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

朝霞市立朝霞第三中学校  
令和5年9月22日発行

〒351-0023  
朝霞市溝沼 1043-1  
TEL 048-464-7575  
FAX 048-467-4742

校長 嶋 徹

**百錬成鋼** (ひやくれんせいこう 生徒の皆さんは「百錬成鋼」の意味を考えましょう)

今年の夏は世界的に記録的な猛暑となり、国連事務局長は「地球沸騰化」と新しい用語で表現しました。9月に入ってもエアコンがない所では、普通の生活ですら困難な日が続きました。

彩夏祭では、三中ソーランみつばちが、笑顔で元気よく演舞して沿道から大きな拍手をいただきました。踊り終わった生徒の満足げな顔、さわやかな顔がとても印象に残りました。PTA役員はじめサポートをいただいた保護者の方々、ありがとうございました。

部活動では、朝霞地区大会を突破した陸上部、剣道部、柔道部、女子バスケットボール部、男子バドミントン部、男子ソフトテニス部の生徒が県大会に出場しました。陸上部は、個人種目やリレーで6名が関東大会並びに全国大会に出場し、全国大会はNHK Eテレで放映されました。吹奏楽部は、吹奏楽コンクール南部地区大会に出場し南部地区代表として県大会に出場、さらに埼玉県代表として西関東大会に出場して最高の演奏で金賞を受賞しました(全国大会には一步届かず)。また、部活動ではありませんが、水泳、新体操で県大会や関東大会・全国大会に出場した生徒もいました。上位大会出場者並びにその結果は裏面をご参照ください。

予選を通過して上位大会に出場した生徒は、常に自分に厳しく練習に取り組み、苦しい場面も耐えて乗り越えた強い生徒です。「百錬成鋼」の言葉のように、三中生が日々の諸活動に取り組み、成長に必要な資質や能力を高めていくよう努めてまいります。

## 「ホップ・ステップ・ジャンプ」と 実りの秋

「ホップ・ステップ・ジャンプ」は、人間の成長などでよく例えられる言葉ですが、もとは陸上競技の三段跳びで用いられている言葉です。学校の1年間は、1学期・**2学期**・3学期に区切られていますが、「ホップ・ステップ・ジャンプ」と深い関連があります。三段跳びでは、1つ目のジャンプは助走の勢いもあるので跳びやすいのですが、難しいのは2つ目以降のジャンプです。勢いがなくなり、**2つ目のジャンプで失速すると、3つ目のジャンプでは記録を伸ばすことができません**。4月に立てた今年度の目標を、ここで振り返ってみることが大切です。1年間の締めくくりとなる3学期での大きなジャンプへとつなげるためにも、この**2学期のステップが重要**となります。

2学期は、すでに実施した3年修学旅行や1年川越校外学習、そして生徒会役員改選をはじめ、新人戦、合唱コンクール、駅伝大会、中間テスト、期末テストなど、たくさんの行事があります。夢や目標を見失うことなく、「今やるべきことは何か」、「今できることは何か」など将来を見つめて行動し、**実りの秋にふさわしい躍動的なステップ**を実現してほしいと思います。



3年修学旅行 興福寺



東大寺大仏殿



1年川越校外学習 喜多院